

喜
多
方
で
農
と
生
きる。

福島県喜多方市

先輩就農者 左から山口尚志さん、塚原亮さん

喜 び 多 き 方

蔵のまち
ラーメンのまち
農業のまち

喜 多 方



福島県喜多方市

喜多方市ってどんなところ？

喜多方市は、福島県の北西部、会津盆地の北側に位置する自然豊かな小都市です。気候は寒暖の差が激しく、夏は気温が高く厳しい暑さが続く日もあれば、冬は寒冷で、平均1～2m、多いところでは3mに及ぶ積雪があり、春夏秋冬がはっきりしています。

四季折々の素晴らしい景色が皆さんをお待ちしております。

ラーメンと蔵のまち！

喜多方市は、日本三大ラーメンと言われる喜多方ラーメンをはじめ、4,000棟を超える蔵や街並み、日本酒やそばなどで年間約180万人を超える観光客が訪れます。

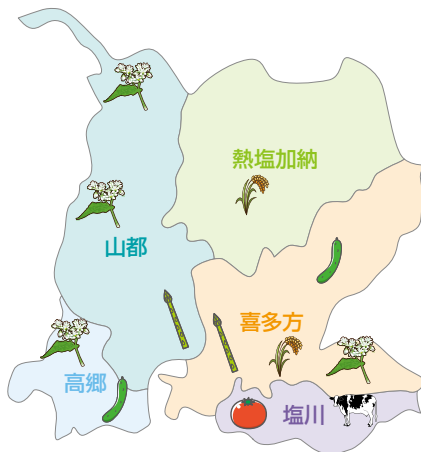
魅力的で多彩な地域

地域ごとに多様な暮らしがあり、同じ市内であっても様々な表情や歴史があります。そんな多彩さも喜多方市の魅力のひとつです。



山 都

飯豊連峰の麓に広がる「そば」で有名なまち。| ターン者が多い。アスパラガス・そばが盛ん。



熱 塩 加 納

喜多方市の水の源である日中ダムがある。お米の栽培が盛ん。



高 郷

起伏に富んだ中山間地域。雄大な阿賀川が中心部を流れている。キュウリ・そばが盛ん。



喜 多 方

歴史、文化を感じることができる蔵の街並み。市役所本庁舎がある市の中心部。お米・アスパラガス・キュウリが盛ん。



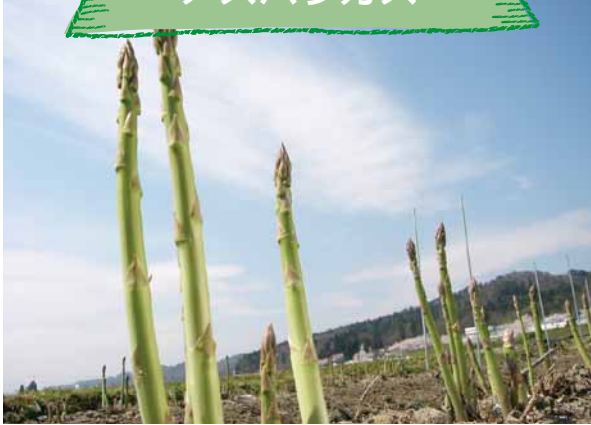
塩 川

会津若松市に近く交通の便が良いため、ベッドタウンとして人気がある。お米・ミニトマト・畜産が盛ん。

農業が盛んです！

いいで つがみね
飯豊連峰や「平成の名水百選」に選ばれた柵峰渓流水など、豊かな自然と清らかな水資源に恵まれた全国有数の米どころです。また、東北有数のアスパラガスをはじめ、キュウリ、ミニトマト、ソバの産地が形成されています。環境保全型農業や農泊・農業体験などの「グリーン・ツーリズム」が盛んな地域でもあります。

アスパラガス



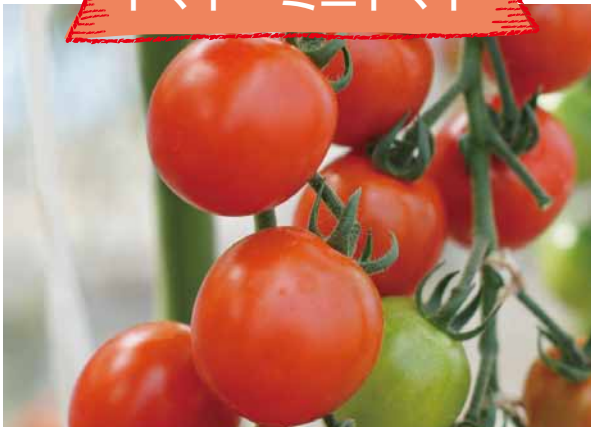
東北一のアスパラガスの生産量を誇る喜多方。雪解け水を十分に吸った春のアスパラガスは、太さ、食感、甘味が絶品です。

キュウリ



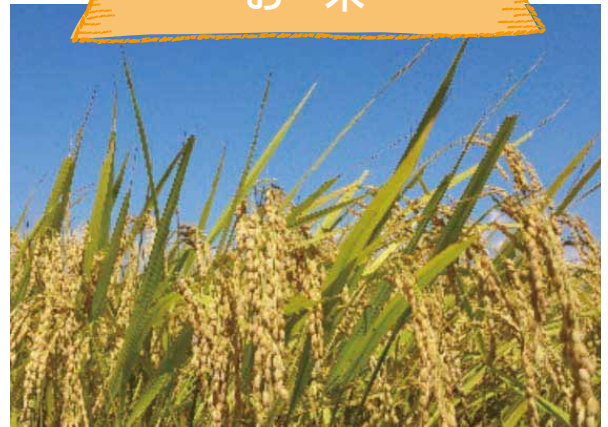
夏野菜の王様キュウリ。喜多方は県内有数の夏秋キュウリの産地で、甘みと食感が最高です。

トマト・ミニトマト



喜多方の豊かな土壌と、寒暖の差が大きい気候風土の中で育てられたトマトやミニトマトは、甘さ・食感・みずみずしさの全てが特A級です。

お米



喜多方は、全国の食味ランキングにおいて最高水準の特Aランクを長年にわたり獲得しているコシヒカリの名産地です。

喜多方市農作業カレンダー

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
キュウリ	準備	定植	管理	収穫(朝・晩)・管理作業				片付け				
トマト ミニトマト	準備	定植	管理	収穫・管理作業				片付け				
アスパラガス	準備	収穫・管理作業 ※苗定植からすぐには収穫できないので注意						片付け				
米	ほ場準備			育苗管理	田植	水管理・草刈り作業		稲刈り・乾燥・調整		片付け		

冬期間は、道路の除雪作業や酒造メーカーで働いたり、学校給食向けの野菜を作ったりしている人もいます。



独立・自営就農までのステップ



農業を始めたい



地域理解・農業体験

地域理解

実際に訪れてみて、地域の農業や農村生活を体験して理解を深めましょう。

- 短期間の滞在・見学



農業体験

実際に市内農家のもとで農業体験してみましょう。

一般社団法人
喜多方観光物産協会
グリーン・ツーリズムサポートセンター

<http://www.kitakata-kanko.jp/>



就農への意思確定

- 「農業で生計を立てる」という意思是固まりましたか？
- 家族の了承は得られましたか？
- 目指す農業経営は明確化できましたか？
(就農地、居住地、経営タイプ、栽培作物、規模など)
- 就農までの計画(スケジュール)は立てましたか？



就農に向けての準備

就農に向けた栽培技術、知識を身につけましょう。

また、経営開始に必要なものを確保しましょう。

- 農業研修
- 経営資金
- 農地の取得(賃借、売買など)
- 施設・農業機械の整備



就農準備段階

就農・経営開始

※ 上記の流れは、スムーズに就農するための一般的な流れであり、必ずしも手順どおりにしなければならないというものではありません。

移住希望者お試し滞在支援事業(市)		問い合わせ先
内 容	市内宿泊を伴う現地見学や住居・仕事探しなどを行った場合に、その宿泊費の一部を支援します。	喜多方市 地域振興課 ☎0241-24-5306
対 象	福島県外から喜多方市への移住相談を実施した方 等	
補 助	1泊1人当たり最大2,500円(同一年度中6泊まで)	



福島県でも交通費を支援しています。詳しくは福島県HP(以下URL)へ。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025b/10000.html>

農家民泊・農業体験		問い合わせ先
内 容	グリーン・ツーリズムを実践する農家のもとで、農家民泊・農業体験ができます。	一般社団法人 喜多方観光物産協会 グリーン・ツーリズム サポートセンター ☎0241-24-4488
料 金 (税 込)	【日帰り】 2,970円/人(農業体験2時間程度) 4,400円/人(農業体験1日、昼食付) 【1泊2日】13,200円/人(農泊・農業体験、3食付)	



さらに実践的な農作業にチャレンジしてみたい方には、市が先進農家のもとでの農業体験を斡旋します。
 詳しくは喜多方市農業振興課(☎0241-24-5235)へご相談ください。

新規就農者育成総合対策【就農準備資金】(国)		問い合わせ先
内 容	就農に向けて研修機関等で研修を受ける場合に就農準備資金を交付します。	喜多方市産業部 農業振興課 ☎0241-24-5235
対 象	50歳までに就農することが確実な就農希望者であって申請時前年の世帯全体の所得が600万円以下であること 等	
補 助	最大165万円/年(13.75万円/月)、最長2年間	

※この資金の申請・交付窓口は(公財)福島県農業振興公社就農支援センター(☎024-521-9848)になります。



喜多方市では、先進農家(県認定研修機関)でアスパラガス、キュウリ、水稻などの研修が可能です。



新規就農者育成総合対策【経営開始資金】(国)		問い合わせ先
内 容	認定新規就農者の就農直後の経営確立を支援する経営開始資金を交付します。	喜多方市産業部 農業振興課 ☎0241-24-5235
対 象	経営開始時点で50歳未満の認定新規就農者(原則農家後継者を除く)であって前年の全世帯の所得が600万円以下であること 等	
補 助	165万円/年(13.75万円/月)、最長3年間 ※夫婦で就農した場合は1.5倍の額	

新規就農者育成総合対策【経営発展支援事業】(国)		問い合わせ先
内 容	経営を開始する年度において、就農後の経営発展のために必要な機械や施設の導入等を支援します。	喜多方市産業部 農業振興課 ☎0241-24-5235
対 象	経営開始時点で50歳未満の認定新規就農者であること 等	
補 助	事業費の最大3/4、補助対象事業費上限1,000万円(経営開始資金交付対象者は500万円)	

※この事業は、新規就農者の取組内容によりポイント化し、その合計点が高い者から採択となります。

喜多方市独自の新規就農者への支援については次ページ

喜多方市は新たに就農を目指す皆さんを応援します!

～新規就農経営確立支援事業～

50歳未満の認定新規就農者等を、就農準備段階から経営開始段階まで支援します。

就農準備段階

住宅賃借料支援

内容	アパートや賃貸など住宅賃借料を支援します。
対象	市外から新規参入した就農希望者 又は認定新規就農者
補助	賃借料の 1/2 以内(最大 2.8万円/月) 研修期間を含め最長5年間

農地賃借料支援

内容	農地の賃借料を支援します。
対象	認定新規就農者(農家後継者を除く)
補助	賃借料の 1/2 以内(最大 10万円/年) 最長3年間

経営継承支援

内容	国の支援の対象とならない農家後継者の 経営開始段階の不安定な時期を支援します。
対象	認定新規就農者(農家後継者のみ)
補助	1年目:5万円/月×最大10ヵ月 2年目:4万円/月×最大10ヵ月 3年目:3万円/月×最大10ヵ月

経営開始初期段階

これらの支援のほかにも、住宅取得や多世代同居などの移住・定住に関する支援があります。詳しくはお問い合わせください。

新規就農に関する窓口

喜多方市農業振興課
☎0241-24-5235

移住・定住に関する窓口

喜多方市地域振興課
☎0241-24-5306



認定新規就農者とは？

経営開始後5年目の目標を示した「青年等就農計画」を市に提出し、担い手として認定された方のことを言います。認定新規就農者には国や市などの支援のほか、無利子融資などの各種優遇措置が講じられています。

【要件】○原則 18 歳以上 45 歳未満

○新たに経営を開始する方または経営開始後5年以内の方

○次の所得目標の達成が見込まれる方

区分	認定新規就農者	(参考)認定農業者
1個別経営体当たり	294万円(中山間地域 270万円)	490万円
主たる従事者1人当たり	168万円(中山間地域 154万円)	280万円

※農家後継者の場合は、青年等就農計画の認定期間中に経営を継承することが必要です。

経営指標

次の表は、家族経営する場合の各作物の収入などの目安ですので、経営計画を作るときの参考にしてください。

作物	アスパラガス	キュウリ	ミニトマト
経営規模	40a	12a	18a
ビニールハウス数	13~14棟	4~5棟	6~7棟
生産量	8,000kg	16,800kg	10,800kg
単収(10a)	2,000kg	14,000kg	6,000kg
単価(kg)	1,100円	314円	600円
販売金額 (生産量×単価)	8,800,000円	5,275,200円	6,480,000円
所得金額	約2,800,000円	約3,100,000円	約3,200,000円
初期費用	約3,000万円	約1,000万円	約1,500万円

要チェック

農家の強い味方！ JA広域会津集出荷施設「会津野菜館」

福島県会津地方を管轄エリアとする「JA会津よつば」では、全国初となるJA全農福島との共同運営の選果場「会津野菜館」を2020年6月から稼働開始しました。

これまで生産者の負担が大きかった選果や箱詰め作業が一気に軽減され、地域が誇るアスパラガス、キュウリ、ミニトマトの産地ブランド化を大きく後押ししています。



収穫後の作業が減った分、
規模拡大などのために
時間を有効活用できるね



新規就農者インタビュー



田中 圭さん(2019年4月就農)

- 出身地 喜多方市
- 前職 農業法人(埼玉県)
- 経営作物 アスパラガス(施設) 45a

Q 冬はどのように過ごしていますか？

A 栽培の師匠がホワイトアスパラガスを栽培されているので、そこでアルバイトをしています。

Q 今後の展望は？

A これからアスパラの収穫量も増えていく見込みなので、まずは農場の運営体制を整えていきたいと思っています。

Q これから就農を希望する人に一言！

A 農業従事者は減っていますが、農業はこれから大きく変化する業界だと思います。やりがいやチャンスがいっぱいあると思いますので、ぜひ就農を志す方には挑戦してほしいです。

Q 就農したきっかけは？

A 農業のように体を動かして技術で生計を立てるような仕事に憧れを持っていました。独立を目標として農業法人に5年勤務し、資金的な目途がついたことを機に地元に戻り就農しました。

Q 農業の魅力ややりがいを感じることは？

A 創意工夫を凝らす場面がたくさんあるので、飽きることなく意欲が湧いてくること。またその工夫の結果が自分に返ってくるプレッシャーと緊張感もやりがいや魅力だと思います。

Q 就農時に苦労したことは？

A ・資金面…アスパラは収穫までの期間が長いので予想外の出費や、費用に対する補助金の金額が変更になった際などは不安でした。
 ・技術面…必要な売り上げと自分の体力や時間とを見極めた上で、栽培の適正規模の判断する事は難しく、とりあえずやってみるまで分かりませんでした。
 ・農地面…アスパラは一度植えると10年以上同じ場所で栽培を行うので、農地選びは慎重にならざるを得ませんでした。近隣の方の情報や研修先の師匠のアドバイス、紹介して下さった方々の縁などから決断しました。

※インタビュー内容は2020年9月当時

こっちも見てね！

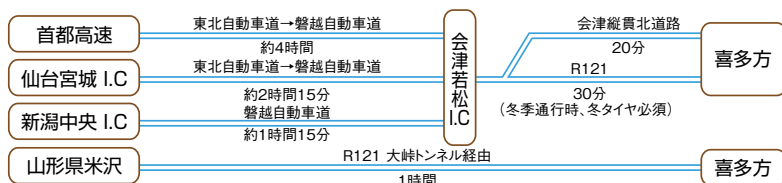
喜多方市の先進農家や先輩新規就農者の紹介記事などが(株)マイナビHP上に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

喜多方市 マイナビ農業

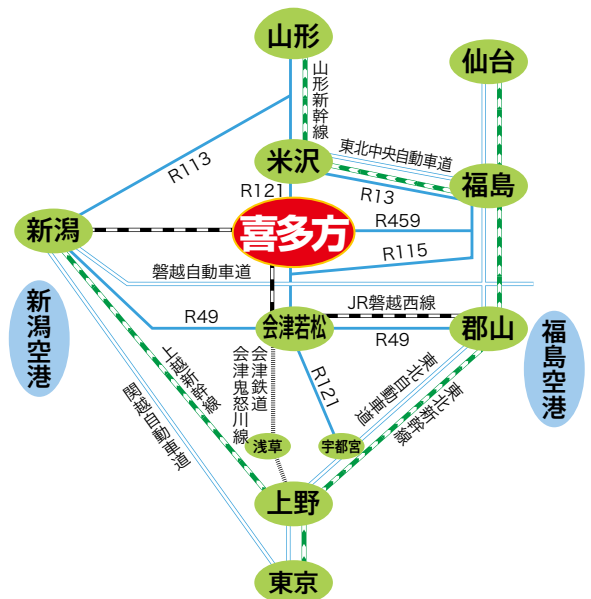


喜多方市へのアクセス

お車の場合



電車の場合



お問い合わせ

喜多方市産業部農業振興課(農業振興協議会事務局)

〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東7244番地2

TEL:0241-24-5235・FAX:0241-25-7073・Mail:noushin@city.kitakata.fukushima.jp